

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2021-09-01

No. 134



株式会社 コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation
〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
IEC: 規格解説: IEC 62311 電磁界への人体曝露制限に関する電子/電気機器の評価(1/2) ..	3
IEC: 新規格リスト	8
ISO: 新規格リスト	9
UNECE: 第 184 回会合での車両規制の調和のための世界フォーラム報告書(2/2)	10
UNECE: 国際全車両型式承認 (IWVTA) に関する統一規定: 国連規制第 0 号改訂 3 発行 ..	13
国際テーマ: サイバーセキュリティに対する脆弱性評価と侵入テストの提供	13
国際テーマ: PC の登場から 30 年	14
国際テーマ: ブラジル、簡素化された通信機器認証の更新プロセスを延長	15
国際テーマ: 市場監視と製品の適合性に関する新しい EU 規制	16
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	17

USA: FCC: Part 20: KDB: 質問: 携帯電話の補聴器両立性に関する機器認可要求事項は? ..	18
USA: FCC: ソニーによるキーブリッジの電波環境感知能力(ESC)の利用を承認	18
USA: FCC: 高度ワイヤレス技術の研究等のため、新規イノベーションゾーンを指定	19
USA: OSHA: 国立労働安全衛生研究所と協力し、小規模企業向けハンドブックを改訂	20
USA: DOE: ゼロエミッション車の開発促進に 6,000 万ドルを拠出	21
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	22
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	23
USA: IEEE : 新規格リスト	24

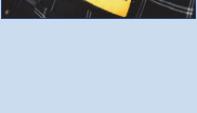
EU: CENELEC: 新規格リスト	26
EU: ETSI: 新規格リスト	29
UK: グレートブリテン: CE マーキングの使用期限が 2022 年 12 月 31 日まで延長	29
ニュージーランド: 無線周波数管理課、ビジネスアップデート 2021 年 8 月号を公開	30



中国: SAMR: カラーテレビ製品の品質国家監督抜き取り検査実施細則の公布	31
中国: SAMR: 検査・試験報告書の偽造品の違法なオンライン販売に対する特別是正措置 ..	31
中国: CQC: 電気制御機器認証規則の改訂に関する通知	32
中国: CQC: 低電圧直流開閉装置の安全認証規則改訂の通知	33
中国: 新規格リスト	33
台湾: 検査対象の空気清浄機商品の関連検査規定 改正案の事前告示	33
台湾: 再生可能エネルギーインバータ用監視ユニットへの自主製品検証の関連検査規定 ..	34
台湾: 新規格リスト	34
韓国: RRA: 5G 移動通信無線設備の導入のため技術基準の一部改正行政予告	35
韓国: RRA: 海上業務用無線設備の技術基準の一部改正案行政予告	35
韓国: RRA: 航空業務用無線設備の技術基準の一部を改正告示正式公布	36
韓国: RRA: 電磁波強度測定基準告示の改正 (案) 行政予告通知	36
韓国: KATS: 電気用品安全基準の改正告示: 引用規格を KS 規格に変更するよう変更 ..	37



総務省: 「情報通信に関する現状報告」(令和 3 年版情報通信白書) の公表	39
総務省: 製造現場におけるローカル 5G 等の導入ガイドラインの公表	39
総務省: AI ネットワーク社会推進会議 AI 経済検討会 報告書 2021 の公表	40
総務省: 「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き (改定版)」公表 ..	40
経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈について (通達) の一部改正 ..	41
経済産業省: 日本産業規格(JIS)を制定・改正しました (2021 年 8 月分)	42
経済産業省: 第 9 回 中央環境審議会等 合同会合開催資料: 2050 年カーボンニュートラル ..	42
経済産業省: 2050 年カーボンニュートラルの実現に向けた住宅・建築物の対策	43
国土交通省: 乗用車等の排出ガス性能: 基準調和が進展: 協定規則 (第 154 号) 関連	44



コスモス・コーポレイション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内	25
ちょっとといつぶく～小クイズコーナー～接地記号について	17
社長の独り言	45

COSMOS

エグゼクティブサマリー Executive Summary

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

2021-09-01

No. 134

IEC: 規格解説: IEC 62311 電磁界への人体曝露制限に関する電子/電気機器の評価(1/2)

- 「IEC 62311 Ed.2 電磁界 (0 Hz ~ 300 GHz) に対する人体曝露制限に関する電子および電気機器の評価」が、2019-04 付で、発行されている。
- 本規格は、電磁場への人の曝露に関する専用の製品規格または製品群規格が適用されない電子および電気機器に、適用される。又、本規格は、**基本制限**および/または**参考レベル**によって示される限度値を指定しない。これは各国または地域の法規制に依る値に任せられている。
- (4 項)適合への判断基準: 一般に、**基本制限**が、適合の評価のための曝露限度値として使用される。ただし、ほとんどの場合、測定が容易な電界、磁界、及び電磁界による**参考レベル**が限度値として使用される。参考レベルを超えて、基本制限を超えているとは限らない。

UNECE: 第 184 回会合での車両規制の調和のための世界フォーラム報告書(2/2)

- B. 1958 年協定の管理委員会 (AC.1) での討議 XIII. 既存の規制の修正と正誤表および新しい規制の提案- AC.1 による投票
提出された文書に対する投票の結果は、第 12 条の手続き規則および 1958 年協定の改訂 3 の付録に従って、次の表に示されている。(ここでは、一部のみ抜粋)
現行規制への修正 規制 No.134 Hydrogen and Fuel Cell Vehicles (HFCV)
規制 No.157 Automated Lane Keeping System (ALKS)

USA: FCC: Part 20: KDB: 質問: 携帯電話の補聴器両立性に関する機器認可要求事項は?

- 本刊行物は、2021 年 7 月 17 日に更新された: 「採用規格 C63.19-2019 の HAC に関する手順を更新するため、ドラフト刊行物が 2021 年 7 月 17 日に公示された。補聴器適合性（証明）を求める申請者は、C63.19-2011 並びに C63.19-2019 を網羅するこのドラフト版ガイドラインを利用できる。

英国：グレートブリテン：CE マーキングの使用期限が 2022 年 12 月 31 日まで延長

- 英国政府ウェブサイトにて公開されていた、「UKCA マーキングに関するガイドライン」が 8 月 24 日付けで改訂された。英国のグレートブリテン（イングランド、ウェールズ、スコットランド）における、CE マーキングの使用可能期限が来年の 12 月 31 日まで延長された。
UKCA マーキングは、2023 年 1 月 1 日から強制。

経済産業省：電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈について（通達）の一部改正

- 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈について（通達）の一部改正について
- 国際規格（IEC 規格）に準拠した JIS 等の規格・基準を取り入れることで、より一層の国際整合化を図るよう現行規格を改正する。今回、改正する規格の数は、26 規格。その内、採用済の IEC 規格に準拠した JIS を、より新しい版に置き換えるものが 22 規格である。

社長の独り言

2021年8月14日
濱口 慶一

オリンピックも無事に(?)終わり、日本選手の活躍で多くの金メダルを獲得できましたが、その後、新型コロナウイルスの変異株による感染者の異常な増加に驚いています。皆さんに感染しないよう祈るばかりですが、くれぐれもご注意ください。

長岡技術科学大学システム安全工学科での受講ですが、教授から出される課題に閉口気味です。しかし、難しくても課題の解答が、教授の一番教えたいことであると理解しようと日々取り組んでいます。機能安全、リスク分析、技術者倫理、企業コンプライアンス等、35年以上製品安全業界にいて十分に学んできたつもりでも、授業で見聞きすることのすべてが新鮮で、もっと深く掘り下げて学べば良かったと感じます。2年で卒業出来ればそれで良いのですが、今まで我流で学んできたこととはあまりにも異なる製品安全の理論とその周辺知識の説明を聞いていて、死ぬまでこの学部にへばりつきたい願望も最近は出てきました。

どのような思想を持ち、どのような立ち位置で製品の設計開発販売をして行かなければならぬか？設計者が自分で設計した製品からのリスク低減の徹底実施に加え、品質保証担当、設計者、労働安全衛生法に詳しいスタッフ、販売担当責任者に法律家も加えての、関係者による出荷前審査の重要性が問われていると感じていました。教授の教えで自分の理解が間違っていたと確信しています。そのため、大学で自分が現在学んでいる、技術者として最低限知っておくべきことを弊社のエンジニアに伝え、彼らがコスモスから世界で活躍できる技術者に成長し、お客様の製品に安全な最新技術を組み込んでいただけるよう、経営者として取り組んでいきたいと強く決意する次第です。できるだけ早く変化を感じていただけるようにと思っています。

さて、趣味の養蜂ですが、5月に待ち巣箱に入ってくれた1群の子捨ても無事に終わり、蜜蜂たちは例年のごとく襲来してきた雀蜂と戦っています。今は小型の黄色雀蜂がやってきていて、日本蜜蜂も100匹位で雀蜂を囲んで「熱殺蜂球」で戦えるのですが、大型の雀蜂がやってくると多分負けてしまい、巣も子供達もすべて食われてしまいます。今年はなぜか雀蜂の襲来が多いので、自宅の近くに巣があるだろうと思うのですが、田舎ですからそこら辺にマムシなどもいると思われ、あまり出歩かずにはいないと嘔まれて入院となつては困るし、どのように蜜蜂達を保護しようか悩んでいます。

蜜蜂も水が必要で、巣箱の近くにメダカの水槽を置いています。昨年、黒メダカがたくさんの子供を産んである程度大きくなつたので、見るのを楽しみにしていたのですが、そのメダカがほとんどなくなっていました。水が原因で死んでしまったのかと思っていたら、丸々と太った大きな蛙さんが1匹見つかり、こいつがメダカを食料にして越冬したのだと、早速追い出しました。メダカも全くいなくななり、しばらく放置していたところ、最近、小さなメダカの子供が泳いでいるのが見つかり、どこからやってきたのだろうと観察しているところです。メダカは卵で越冬するのでしょうか？誕生したメダカの子供は200匹位はいそうで、大きくしたいと毎朝餌やりに精を出しています。

- ニュースレターの内容

本誌は、EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようになります。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU 及び UK, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

- 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション CS 部（カスタマーサービス部）まで Yamashita-jun@cosmos-corp.com

Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

- 本誌の内容案内、ご購読案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO: European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾経済部標準検査局
	CNS:Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC & 安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2021-09-01 (No. 134)

発行所: 株式会社 コスモス・コーポレイション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1

ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2021 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。